

正代 初優勝



発行所
熊本日日新聞社
〒860-8506
熊本市中央区世安町172
代表(096)361-3111
© 熊本日日新聞社 2020年

号外

詳しくは熊本日日新聞
朝刊をご覧ください

ご購入のお申し込み ☎0120・374625

県出身力士初 13勝2敗

大相撲秋場所千秋楽は27日、東京都墨田区の両国国技館で行われ、宇土市出身の関脇正代(28)を伸ばし、13勝2敗で初本名正代直也、時津風部屋Ⅱが翔猿に勝って白星09(明治42)年に優勝



制度が確立後、熊本県出身力士の幕内優勝はなく、歴史的偉業を達成。牛深市(現天草市)出身の栃光(故人)に次ぐ大関昇進に大きく近づいた。

2敗で単独首位に立った正代は、3敗で追う新入幕の翔猿に土俵際まで押し込まれながらも回り込んで突き落とした。

正代は熊本農高から東京農大に進み、2年時の2011年に学生横綱を獲得。14年に角界入りし、16年初場所で新入幕を果たした。17年初場所で関脇、同春場所で小結を務めた。その後平幕が続いたが、今年の初場所で千秋楽まで優勝争いに絡み、春場所で関脇に返り咲いた。得意は右四つ、寄り。身長184センチ、体重170キロ。

大相撲秋場所千秋楽で翔猿(手前)を突き落として下し、初優勝を果たした関脇正代
Ⅱ27日、東京・両国国技館